

高知県における緊急地震速報の利活用状況調査について ～～激しい揺れから身を守り、揺れがおさまれば直ちに避難～～

近い将来に発生が懸念される南海トラフ地震で最大クラスの地震が発生した場合には、高知県内のほとんどの市町村で震度7、震度6強の激しい揺れに襲われ、沿岸の地域では最大で30メートルを超える大津波の来襲が想定されています。

地震発生直後に襲ってくる激しい揺れから身を守るには、家屋の耐震化、家具の固定等の事前の備えに加えて、「緊急地震速報」の活用が極めて有効です。

高知地方気象台では、高知県内における緊急地震速報の認知度、とるべき行動に対する理解度等を把握し、緊急地震速報の利活用促進に向けた取り組みを進めるため、高知県及び各市町村のご協力を得て、県内全ての自主防災組織にアンケートを行い、緊急地震速報の利活用状況を調査しました。

その結果、緊急地震速報については、ほとんどの人が認知されており、また、とるべき基本的な行動についても概ね理解されていました。その一方で、緊急地震速報を見聞きした後に「強い揺れが来る」と思った人は半数程度、また、緊急地震速報のテレビ・ラジオまたは携帯電話のどちらかの音しか知らないとする人も半数程度となっています。さらに、緊急地震速報を実際に見聞きした際に、身を守るための具体的な行動がとられていないなどの課題が明らかになりました。

今後、高知地方気象台では、関係機関と連携のうえ、明らかになった問題点、課題解決のための取り組みを進めていくことにします。

調査結果（速報版）は、高知地方気象台ホームページに掲載しています。

URL：<http://www.jma-net.go.jp/kochi/>

本件に関するお問合せ先

高知地方気象台 調査官 黒田

電話：088-822-8882